

“ あっちこっち動く ” メカ 故障修理マニュアル

電車、自動車、動物などがあっちこっち勝手に動くメカニズム一般の分解・修理について述べる。

【分解手順】



メーカーによって様々ある。中央がビスで止まっているもの、横からはめ込み、などあるが基本メカは一緒。

写真の場合、爪ではめ込み式である。

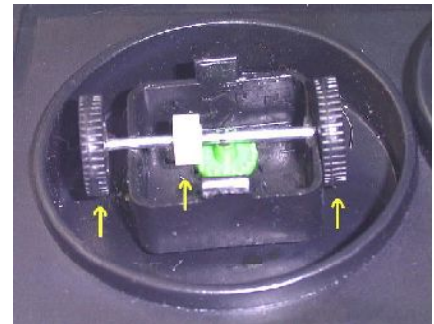
黄色→の部分、両側を内側に押して、上方に抜き取る。

【故障しやすい個所とその修理】

①内部のモーター、変速機によって、写真薄ミドリ色のクラウンギヤが回転→ピニ

オンギヤが回転→車輪が回転、と伝達される。

②動いている時に上から押さえつけるとか、車輪を手で無理に回すとかによって、車軸とピニオン、車軸と車輪の固着がゆるんで空回りする故障が圧倒的に多い。(黄色↑)



修理方法としては、

①軸とピニオンまたは車輪を瞬間接着剤で固定する。その場合、軸をペンチの刃、やすりなどで×形、//形に傷付けてはめ込み、瞬間接着剤を流す。

②軸、ピニオンに潤滑油は付着していると接着不良になるので、その場合はアルコールで拭いてから接着する。

【再組み立て時の注意】

接着剤が充分乾いてから、試運転を行うこと。

以上